

## 【共通①】

令和6年度埼玉県主任介護支援専門員研修

# 主任研修について

埼玉県介護支援専門員協会

## 主任介護支援専門員とは・・・

- ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整

他の介護支援専門員に対する助言・指導

など

- 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践

- 主任介護支援専門員とは・・・

スーパーケアマネではなく  
ケアマネの監督・コーチ役

- 主任介護支援専門員の支援対象は・・・

利用者ではなく  
ケアマネと地域

- 主任は居宅の管理者をやるためだけの資格ではありません

- 主任の役割を実践している人、つまり「後輩の指導をきちんと行い、地域づくりに参画している人」が居宅の管理者にふさわしいということ

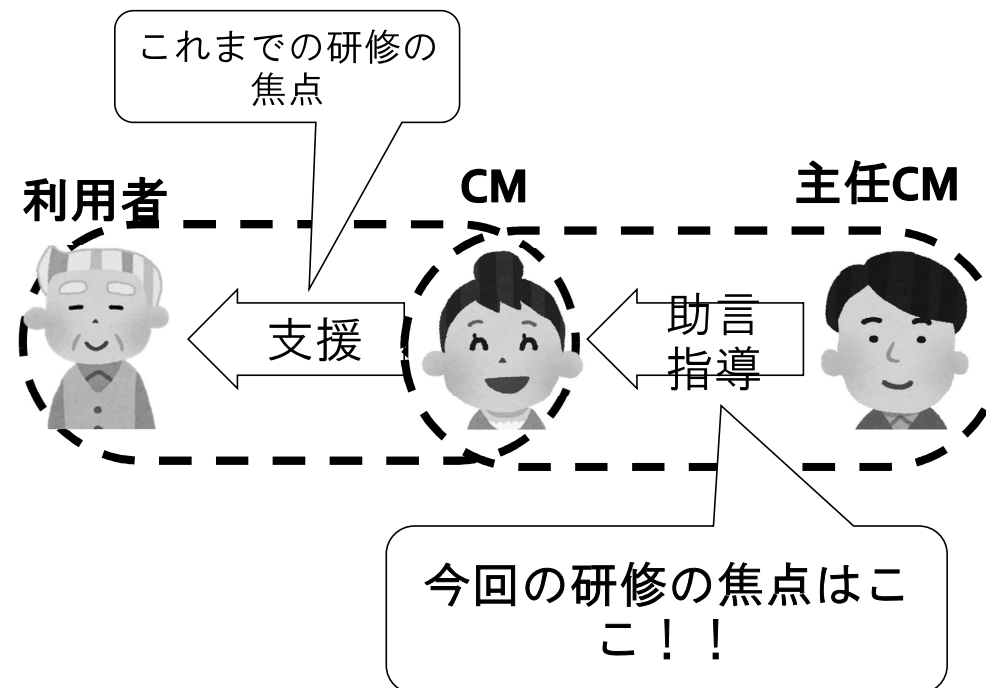
- 居宅の管理者は主任の役割を実践している人ということ

- この点をよく理解して研修に臨みましょう

## ①助言・指導について

- ・「看取りのケースだと〇〇なことが多いよね」「だから〇〇な支援をした方が良いよね」はNG
- ・「看取りのケースを抱えたケアマネは〇〇なことが多いよね」「だから〇〇な助言・指導をした方が良いよね」が望ましい回答

事例そのものの議論ではなく  
その事例を抱えたケアマネに対する  
助言・指導についての議論を



## デールの学習理論

### 教える指導法

	2週間後の記憶
テキストを読む	10%
受動的講義	20%
静止画を見る	30%
動画やデモ	50%
能動的討論・自分が講義	70%
体験する	90%

### 気づきの指導法

この50%の差は大きい

「指導者の役割と心構え」前沢政次氏(2013.10.23)の講義資料より

- ・「教える指導法」は比較的短時間で済みますが考える力と応用力が身につみにくい、教える側の一方通行になりやすく満足度にムラが出やすいといった特徴があります
- ・「気づきの指導法」は比較的時間はかかりますが、考える力と応用力が身に付きやすいといった特徴があります
- ・スーパービジョンと言いつつティーチングを自覚なく行っている人もいます

専門職の教育においては  
気づきの指導法をメインで行うべき

## ②地域づくりへの参画

- グループワークは個人ワークの発表会ではなく、メンバーから出た意見をグループでまとめて頂きます
- 様々な意見をまとめて一定の結論を導き出す作業は地域づくりと共通の能力ですので、これらを発揮することで地域づくりの能力の向上を図って頂きます
- 地域ケア会議の5つの機能のうち、地域ネットワーク構築機能や地域課題発見機能、地域づくり・資源開発機能に相当する能力を発揮して頂きます

## グループワークでは...

- グループワークを効果的に進めるには、小さな工夫の積み重ねが不可欠です
- グループワークを効果的に進める工夫は、遠慮なくどんどん行ってください
- グループワークが思う通りに進まない場合は、まずは自分たちで解決を図ってください

本研修での試行錯誤が、  
明日からの業務の向上に繋がります

## グループワークと地域づくり

- 問題や困難が発生した時に「困った」「何とかして欲しい」と言うのではなく、何とかする方法を自ら見つけて実行するのが地域づくりに必要な能力であり、主任CMに求められる能力です
- 主任CMは評論家やコメンテーターではなく当事者であり実行者です
- この研修のグループワークでもその能力を積極的に思いっきり発揮されることを期待しています

## ファシリテーターについて

- ファシリテーターはグループワークを上手くいかせるために、何かを教えるためにいるわけではありません
- ファシリテーターの基本は見守りで、課題から逸れそうになったり行き詰りそうになった時に介入します
- 介入がない場合はグループワークが順調に進んでいると判断された証拠です

グループワークに対する姿勢が  
普段の助言・指導にも表れます

そのような主任CMの姿勢は  
助言・指導を受けるCMがよく見えています

どのような姿勢が望ましいのか  
よく考えながらワークを進めてください